



上尾支部通信

- 上尾・桶川・伊奈 -

第3号

平成19年3月1日

発行人

埼玉県行政書士会上尾支部

支部長 石倉富美子



長島敬一先生を偲んで

昨年の9月14日、埼玉県行政書士会の会長で、長年にわたり上尾支部の支部長を務めてこられました長島敬一先生が急逝されました。

今回、石倉富美子支部長が追悼文を寄せて下さいました。

《行政書士イコール長島先生》

長島先生は、行政書士の地位向上と資質の向上なくして行政書士業務は発展しないという強い信念のもとに種々の活動を続けてこられました。

先生は人一倍行政書士を愛し、行政書士の制度発展のために骨身を削って尽力され、持ち前の責任感と企画力を発揮され、また公平・誠実・実行をモットーに、私たち会員の指導にあたられ、多くの功績を残されました。

この度の訃報に接し、私はまだ信じられません。人間の生命のはかなさを思い知らされました。

行政書士業務を多くこなされる中で趣味もたくさんお持ちになり、作詞・作曲もなされ、上尾支部の行事開始前に必ず歌う「行政書士の歌」を作られ、ご来賓の方々も一緒に合唱しながら和やかな雰囲気の中に、行事はス

タートいたします。この事はおそらく他の支部では見られない光景だと思います。私は支部が存続する以上、継承することを希望してやみません。

更には、数え切れないほど多くの功績を残されておりますが、特に印象に残っていることは、長島先生が主催し、毎年テーマを決めて行われた特別研修会は9年間も続き、県内各支部の希望者が上尾市文化センター（元・福祉会館）に集まって勉強を行いました。当時開業して間もないある支部の会員の方が「私が行政書士になって業務をしていく上で、あの時の講義を受けたことが非常に役立っている」と私にお話しして下さいました。

一方、長島先生は埼玉県行政書士会の会長を務める傍ら、日本行政書士会の専務理事の要職に就かれ、日夜行政書士会員のため、また行政書士制度発展のために尽力され、これからという時にお亡くなりになられて、ご本人はさぞかしご無念であろうと思われま

せん。我々行政書士にとっても大変残念でなりません。今後は、長島先生のご遺志を引き継ぎ、業務に当たっていくことをお約束し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

埼玉県行政書士会上尾支部

支部長 石倉 富美子

桶川伊奈地区懇親会を開催

7月21日（金）、支部恒例行事のひとつである桶川伊奈地区懇親会が開催されました。

例年は秋に行われてきましたが、今年初めての7月開催となりました。この日はあいにくの空模様でしたが、9名の参加者が集まり、桶川駅からの送迎バスで菖蒲町内の料理店へと向かいました。

午後6時、関口光男厚生部長の司会で会は始まり、石倉支部長の挨拶、友光富雄副支部長の乾杯と続きました。

乾杯後は様々な話題・意見が飛び交い、懇親会の名にふさわしい場となったのではないかと思います。

最後に荒岡副支部長が場を締め、全員による大拍手の中、会は終了しました。

来年も懇親会は行われるかと思われませんが、その際にはより多くの方にお集まりいただければと思います。

（支部通信担当 植本泰之）

無料街頭相談を開催

10月9日（月）、恒例となりました上尾駅頭での街頭相談が開催されました。

この街頭相談は、行政書士制度強調月間に照準を合わせて、全県下で一斉に行われる埼玉会のPR活動の一環であり、県内ではほかに川越、浦和、熊谷、南越谷などでも同様のイベントが同時に行われました。

当日は、抜けるような青空の下、連休三日目の最終日とあって人出で込み合う中、午前10時からのスタートとなりました。

相談受付コーナーでは、援軍として大宮支部・岩槻支部・鴻巣支部から各2名ずつの先生方にご出駕いただき、午後4時の終了間際までの間、途切れることなく様々な相談が持ち込まれ、高玉稔功会長代行にも激励にいらしていただき、合計40件に及ぶ相談に応じることとなりました。

一方、PR活動として、従来から続けてい

るチラシ配布も順調で、花の種入り紙パックのプレゼントと相まって、用意した500セットは終了前にすべて配りつくされてしまいました。

上尾支部では、4月には上尾駅頭、7月には桶川駅頭にて、同様の活動を継続してきており、チラシと花の種配布は毎回好評をいただいて、相談実施時間中にすべてなくなってしまう。今回のように、全県下で一斉のPR活動が開催されることで、支部独自の活動よりもいっそう大きな宣伝効果が挙げたことと思います。

（支部通信担当 友光仁史）

あげお祭りに射的ブース

相談コーナーを出展

第33回あげお祭りが11月11日（土）12日（日）の両日、上尾市民体育館および隣接する百合が丘公園で開催されました。

上尾支部では今年もこの祭りに参加し、射的及び相続・贈与・遺言・成年後見の無料相談を行いました。

上尾支部は平成5年、祭りに初参加。行政書士業務の対象を法人から個人へと広げようとしていた当時、「渡りに船」よろしく、広報活動の新機軸としてこの催しが着目され、現在まで引き継がれています。

祭り初日、支部会員の協力を得てテント、射的用具一式、広報用チラシ等が早朝から準備され、開店に至りました。二日目は、前夜からの強風でテントは半壊、急遽修繕ののち再開しました。

折りしも、今年度から行政書士試験実施日があげお祭りとなり、試験監督員の派遣が上尾支部にも要請されたため、祭りの現場は例年よりも少人数で切り盛りすることとなりました。

射的は毎年盛況です。景品（菓子）は、配置方法いかんで当たり易くも当たりにくくもなりますが、友光広報部長の太っ腹な確率変動で、参加者も大いに楽しんでいました。

挑戦者数は初日延べ224人、二日目延べ284人、合計で延べ513人となりました。

無料相談には、二日間で相続・遺言等を合わせて17件の相談が寄せられ、相談を必要としている個人の需要が潜在することが窺われます。

あげお祭りは、上尾市、上尾商工会議所、上尾市農業協同組合および上尾観光協会が後援し、相談、即売会、模擬店、フリーマーケット、ステージイベント等が催されています。

また、同時開催の「上尾工業フェスタ」「あげおアグリフェスタ」では、市内で生産された工業製品や農産物が展示・販売されています。

(支部通信担当 田中智)



平成19年新年の集い

平成19年新年の集い（主催・埼玉県行政書士会上尾支部、埼玉県行政書士政治連盟）が1月19日（金）、上尾市文化センターで開催されました。

会場には上尾、桶川、伊奈の市町議会、市町役場および行政書士会よりの来賓12名と、上尾支部会員の出席者23名が集まりました。

来賓出席は、埼玉県議会の山岸昭子議員、島田正一議員、石渡豊議員、白石孝一議員、上尾市議会から畠山稔議員、桶川市議会の岡地優議長、渡辺光子議員、伊奈町の永島正信相談室長、行政書士会上尾支部の若松謙維顧問、高玉功稔埼玉会会長代行の代理として荒岡克巳業務一部長（上尾支部副支部長）、露木済二大宮支部長、森中秀夫埼玉葛支部長の代理として道浦陽司同副支部長の出席を賜り

ました。

はじめに、上尾支部の佐藤光正監事（税理士）を講師として税務研修があり、続いて、秋山允宏事業部長の司会進行で式典が行われました。

石倉富美子支部長は、挨拶で「本日は参加者が元気に集まり、大変嬉しいこととございます。長島敬一先生が昨年急逝され、支部は大きな支えを失いましたが、皆様からのご支援のもと、更なる研修を重ねながら猪突猛進してまいりたいと存じます。」と語りました。

友光富雄副支部長は、来賓紹介にあたり「選挙では議員の方々からPRを受けますが、議員は主権者の代表・代理ですから、むしろ我々主権者が議員にPRするべきだと考えます」と述べました。

来賓からは、行政書士や埼玉老後安心センターに対し、期待が寄せられました。

続いて、内田淳一副支部長の乾杯発声で懇親会となりました。会食中には、岩崎正男桶川市長からの祝電が披露され、出席者全員が自己紹介を行い、また、上尾支部役員が本会および支部活動の報告をいたしました。

最後に、政治連盟上尾支部の町田満幹事発声で一本締めがなされ、散会となりました。

(支部通信担当 田中智)



総会や新年会など、支部行事の始めに合唱する行政書士の歌「強く大きく」(作詞作曲・故長島敬一埼玉会会長)を、新会員の辨隆三郎先生が編曲してCDに入れて下さいました。

辨先生は、ギター歴40年以上とのこと。次の機会には、先生の伴奏で合唱できるのを楽しみにしています。

埼玉老後安心センター

第6回成年後見相談会開催

特定非営利活動法人埼玉老後安心センター（石倉富美子理事長＝埼玉県行政士会上尾支部長）主催、桶川市社会福祉協議会後援による無料成年後見相談会が10月29日（日）、午後1時から4時まで、桶川市の地域福祉活動センターで開催されました。

当日会場に訪れた相談者は4組で、成年後見制度を解説したビデオ（約45分）を待合室で視聴した後、各々別々の相談室で個別に相談いたしました。相談内容はいずれも成年後見に深く関わり、各々の相談時間も一時間を超えるなど、成年後見制度に対する需要と関心の深さが窺われました。

相談者のうち一組は埼玉老後安心センターへの依頼を希望し、他の二組は依頼に関心を示していました。また、別の一組は、「用意されていた資料を頂いたが、大変役立った」と相談員に感想を述べていました。

相談会終了後、相談員として参加した11名は、今回の相談に関する内容報告、説明および今後の対応の協議を行いました。石倉理事長は、相談会について「今日は相談会開始時刻よりも早くから相談者が来ていた。相談会を何回も重ねて来たことで活動の成果が市民に浸透してきつつある」と語りました。

県内行政書士による成年後見への取り組みとしては、埼玉会が全8回の特別研修会を9月から開始したほか、上尾支部を含む複数の支部が活動に着手しています。

上尾支部の埼玉老後安心センターは、平成15年10月より有志の勉強会として活動を開始し、平成18年4月に特定非営利活動法人（NPO法人）として認可されています。

成年後見相談会は、平成16年4月から年間2回（上尾会場一回、桶川会場一回）ずつ開催され、今回で6回目となりました。これまでの実績から学びつつ、成年後見制度への行政書士の今後の更なる対応強化につながることを期待されます。

（支部通信担当 田中智）

年度末レクリエーションのご案内

来る3月25日（日）、支部恒例の年度末レクリエーションを開催いたします。

今回は神奈川県の実鶴半島を散策し、春の光と美味しい魚を楽しむ予定です。

皆様のご参加をお待ちしております。

会 員 動 向

【入 会】

辨 隆三郎 先生（18年11月17日・新規）
高村 多嘉蔵 先生（18年12月1日・新規）
坂巻 道久 先生
（18年12月28日・浦和支部より）
鈴木 智士 先生
（19年3月1日・川口支部より）

【退 会】

町田 積夫 先生
（18年8月25日・浦和支部へ）
小原 弘樹 先生（18年9月1日・東京会へ）
長島 敬一 先生（18年9月14日・逝去）
山口 秀樹 先生（18年10月18日・廃業）
青沼 義和 先生（18年12月31日・廃業）

編 集 後 記

昨年は長島敬一先生の急逝という大きな出来事がありました。この支部通信の創刊号が出来た際、長島先生はその出来栄えを大変にほめて下さいました。

また、編集作業で毎回夜遅くまでお邪魔していたにもかかわらず、長島先生は嫌な顔ひとつせず我々を温かく見守って下さり、常に応援して下さいました。

長島先生のご冥福を、心よりお祈りいたします。

（支部通信担当 一同）